

事例から学ぶ
歯科衛生士の

グッド

コミュニケーション

Good!!



中村千賀子 著
白田千代子



Case1 3歳の子どもをもつ母親への対応

登場人物 子ども（3歳）、母親、歯科衛生士（DH）

母親が子どもを3歳児健康診査に連れて行ったところ、上顎前歯に白濁が認められ、歯科医院に行って治療をしてもらおうように指導されました。母親は、子どもが痛がっていないし歯科医院に行くのも面倒だったのですが、無料だと聞き、しかたなく自宅近くの歯科医院に子どもを連れて行きました。歯科医院で「この状態では治療ができません。おそらく、むし歯の主な原因はスポーツ飲料の過剰摂取なので与えないようにしてください」と言われました。

母親は納得がいかず、子どもを連れて市町村保健センターに相談に来ました。



Type Aの場合

母親：先日、子どもを連れて歯医者さんに行ってきたんです。でも、治療してもらえませんでした。

DH：泣いたんでしょ。

母親：あ、はい。

DH：泣いたら、治療できないのは当然です。

母親：3歳児健診で、むし歯の疑いがあるので、歯医者さんに行くようになって言われたんです。まったく痛がっていないし、どこも悪くないと思っていたんですけど、治療費は無料だと教えてもらったので、とりあえず歯医者さんに連れて行ったんですが、結局、治療もしてもらえませんでした。

DH：あまり時間もないので、お口をみせてもらいましょうね。

母親：はい、よろしくお願いいたします。

（歯科医師とDHが子どもの口の中をみる）

DH：むし歯が多いですね。お菓子は？

母親：お菓子はそんなにあげてないです。スポーツ飲料くらいです。水やお茶よりも体によいと思って、毎日1Lは飲ませています。でも、歯医者さんで、この子のむし歯はスポーツ飲料のせいだと言われたんです。本当にそうなんですか？ TVでも雑誌で

もそんなこと一言も言ってませんよね。

DH：歯医者さんの言ったことは間違っていないですよ。スポーツ飲料を飲ませているからむし歯ができるんですよ。

母親：え！そんなこと知りません。

歯磨きも自分でするように教えて、うまくできるようになってきていますけれど。

DH：3歳の子どもではきちんと歯磨きできないでしょう。

母親：フッ素入り歯磨き粉も使ってますけど、フッ素って歯にいいんですよ？ むし歯にも効くんじゃ？

DH：できてしまったむし歯には効かないですよ。

母親：え、そうなんですか？ でも、うちの子、スポーツ飲料好きなので絶対やめられないと思うし……。

DH：お母さんが買わないようにして下さい。

母親：泣いて暴れそう……やっぱり無理。

DH：それよりも早く歯医者さんに行ってむし歯を治療することですね。繰り返しになりますが、スポーツ飲料をやめないと、治しても意味ないですよ。

◀◀ Attention!

理由も話さずに結論だけ伝えても理解されません

◀◀ Attention!

母親のこれまでの思いや努力は、まったくDHにわかってもらえていません。帰宅した後の保健行動にも、やる気はあまり出ないでしょう

新人DHのギモンにベテランDHが答えます！

Q：相談の時間は限られているので、必要な知識を伝えるだけで精一杯です。それでは、効果はないのでしょうか？

A：知識を得ても、実践するのは、親とその子どもです。気持ちよく自らその知識を実行できるためには、いままでの自分の行動を安心して振り返ることが必要です。そのためには、DHは知識を教えるだけでなく、来訪者の考えや気持ちもきちんと受け止めて、安心して振り返りができるように一緒に考え、相手を支えることが大切です。



Type B の場合

母親：3歳児健診でむし歯の疑いがあるので、歯医者さんに行くようにと言われたんです。まったく痛がっていないし、どこも悪くないので歯医者さんに連れていくのをどうしようかと思っていたんですけど、治療費は無料だと教えてもらったので、とりあえず連れて行ったのに、結局、治療もしてもらえなかったんで

歯科衛生士が日頃よく出会う事例と対処の方法をステージごとに示しました。どのような場合でも、対象となる人の話をよく聞いて差しあげることが大切です。もちろん、怒りや悲しみなどのマイナスの感情が大きく動いている人には落ち着いていただけるような支援態度でかかわることが必要です。そして、その話の内容とその人の感情の流れが少しわかってきたら、お互いに話の内容の確認を重ねて、対象となる人が自分自身の問題に気づき、行動変

	対象者	相談者	主な内容	具体的な内容
1	妊婦	本人	妊婦のブラッシング時の悪阻	妊娠3カ月に入った頃からつわりがひどく、食事をすると吐いてしまうことが多くなってきました。忙しくしているとそうでもないのですが、のんびりしていると吐くことが多いです。近頃、口から出血することがあり、口に歯ブラシを入れると、吐き気をもよおし、歯を磨くことも上手にできなくなってきました。歯周病でしょうか。生まれてくる赤ちゃんに影響があると困るので心配だと相談にやってきました。
2	乳児	母親	乳児の夜泣き	出産して6カ月。母乳も十分あたえられ一安心していましたが、このところ毎日夜泣きがひどくて、睡眠も十分にとれていません。
			離乳食の開始時期	母乳がよく出るので、離乳食はまだ与えていません。乳歯が生えてきたので、そろそろ離乳食を与えたほうがよいでしょうか。
			育児に非協力的な夫	夫は仕事が忙しいと言って、育児に協力的ではありません。私ひとりで不安だし、疲れてヘトヘトです。
3	幼児	母親	スポーツ飲料の頻回摂取	3歳児健診で歯科医院に行くように指導されました。歯科医院に行ったところ、子どもは大暴れして治療ができませんでした。歯科医師から「治療ができないので様子をみましょう。歯を磨き、予防に心がけてください」と言われ、日常でフッ化物を使用するようにすすめられました。治療もできずに困ってしまって。それと、スポーツ飲料を水代わりに飲ませているためにむし歯になったと言われたのですが、本当ですか？ 歯磨きもさせているのに。
4	小学校1年生	特別支援学校養護教諭	障害児の摂食指導	この児童は給食を食べられません。なぜなら、今でも離乳食の初期食しか食べていませんので、給食を食べることができないのです。給食時間に児童を観察して、摂食指導をしてほしいのですが。

容が起こるような信頼のある関係づくりができるようになると思います。問題の解決には知識や技術も必要となりますので、ヒントになるようにアドバイスを記載してあります。活用してください。

歯科衛生士の業務や活動にお役に立つことを願っています。

対応	必要な知識・技術	対応期間	対応の難しさ	本書該当頁
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中に起こりうる問題であるので、安心感を与える対応で解決する。 ・妊娠中で、より仕事が大変でないか、精神的なゆとりの有無確認をする。 ・食事のとり方、内容の把握をする。 ・歯磨きのタイミングやヘッドの小さい歯ブラシをすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中に起こる身体的状況を理解する。 ・妊娠中に起こる口腔内トラブルを理解する。 ・歯周病と全身との関係を理解する。 ・具体的な口腔清掃を提供し評価する。 	出産まで	★	
<ul style="list-style-type: none"> ・夜泣きの理由を会話から突き止める。 ・母親の抱えている不安やストレスを理解し、軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身の発達と口腔の発達との関連を理解する。 	夜泣きがなくなるまで	★	
<ul style="list-style-type: none"> ・健常児であれば、離乳食を始めてもよい月齢であることを伝える。 ・専業主婦であれば、地域の子育てグループや育児サロンの利用、NPOの子育て支援の利用などの情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食と口腔の機能との関連を理解する。 ・乳歯の動きなどを理解する。 ・地域の組織を理解する。 ・児童虐待について理解する。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・親の不安の原因を探り、まず親を安心させる。 ・フッ化物について説明する。 ・歯科医院とのかかわり方の説明をする。 ・スポーツ飲料をお茶や水に代える。 ・う蝕ができた原因を子どもに説明する(3歳であれば、親より理解してくれる)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ飲料によるう蝕の発生について理解する。 ・フッ化物の効果と種類、その使用方法について理解する。 ・口腔清掃の意味の確認をしてもらう。 ・幼児期の食生活指導の知識を習得する。 	スポーツ飲料をやめられるまで	★	Case1 (p.56)
<ul style="list-style-type: none"> ・給食時に日常食べている離乳食を持参させ、親と一緒に摂食指導をする。 ・児童の食べる状況のメカニズムを親が納得できるように説明する。 ・摂食訓練の方法を説明する。 ・給食を食べられるようになる時期をおおよそ伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下指導の知識と技術を習得する。 ・食物の組成を理解する。 ・障害をもっている人の特徴を理解する。 ・親だけでなく、教員の支援、協力を依頼、実施してもらえる力を要する。 	給食を食べられるようになるまで	★★★	

対応の難しさ…… ★ ふつう ★★ やや難しい ★★★ 難しい

巻末表
ライフステージにおけるよくある事例あれこれ 21